

平成28年度 第 12 回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
議案第5号 平成29年度『垂水市の教育』 基本方針について	平成29年度垂水市の 教育行政の運営に関する 基本方針を定めよう とするものである。	特記事項なし	承認
議案第6号 垂水市文化財の指定について	桜島焼亡塔（史跡） を垂水市指定文化財と して指定することで、 保護し後世へ伝えよう とするものである。	特記事項なし	承認
議案第7号 垂水市立学校通学費補助に 関する規則の一部改正について	垂水市立学校通学費 補助に関する規則の一 部を改正しようとする ものである。	特記事項なし	承認
議案第8号 垂水市教育委員会学校教育課 の所管に係る補助金交付規則の 一部改正について	垂水市教育委員会学 校教育課の所管に係る 補助金交付規則の一部 を改正しようとするも のである。	特記事項なし	承認
議案第9号 平成29年度垂水市学校薬剤師 の委嘱について	平成29年度垂水市学 校薬剤師を委嘱しよう とするものである。 （任期）学校薬剤師： 1年	特記事項なし	承認
議案第10号 垂水市社会教育指導員の任命 について	社会教育指導員を再 任しようとするもので ある。	特記事項なし	承認
議案第11号 垂水市青少年育成センター相 談員の委嘱について	青少年育成センター 相談員を再任しよう とするものである。	特記事項なし	承認

平成28年度 第 12 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成29年3月14日（火）</p> <p>午後1時55分</p> <p>↓</p> <p>午後3時35分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 長濱 重光</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 池松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成28年度第12回教育委員会定例会を開会した。
議案第7号から第11号の議案5件は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成28年度第11回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

議案第 5 号 平成 29 年度『垂水市の教育』基本方針について

議案第 6 号 垂水市文化財の指定について

議案第 7 号 垂水市立学校通学費補助に関する規則の一部改正について

議案第 8 号 垂水市教育委員会学校教育課の所管に係る補助金交付規則の一部改正について

議案第 9 号 平成 29 年度垂水市学校薬剤師の委嘱について

議案第 10 号 垂水市社会教育指導員の任命について

議案第 11 号 垂水市青少年育成センター相談員の委嘱について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	議案第 5 号 平成 29 年度『垂水市の教育』基本方針について
教育総務課長	平成29年度垂水市の教育行政の運営に関する基本方針を定めようとする ことについて、その内容を説明。
中谷委員	10 ページの上段。12 番の読書活動の充実に学校図書館とあるが、学校は 図書室ではないか。
学校教育課長	通常学校図書館法の中では、図書館というのが正式な言い方である。学 校の中では、教室という取扱いで、図書室としているところがある。
田原委員	10 ページの生徒指導の 8 番目、ネットパトロール等によるネットいじめ の早期発見と情報モラル教育の充実は、警察がやっている事業ですか。
学校教育課長	県から委託をされた民間企業がインターネット上を監視している。例え ば、学校名等で検索をかけ、いじめや問題行動等が心配される場合は、市 教委及び学校に連絡をしていただけるシステムである。
田原委員	市にあるわけではなく、県から情報がくるのか。
学校教育課長	そのとおりである。
教育長	私が就任してから 3 件ぐらいあった。そんなに危惧することはないが、 やっぱり安心できてありがたい。
教育長	異議がないので、議案第 5 号は承認する。
	議案第 6 号 垂水市文化財の指定について
社会教育課長	桜島焼亡塔（史跡）を垂水市指定文化財として指定することにより、保 護し後世へ伝えようとするについて、その内容を説明。
野村委員	年代がどんどん古くなって欠落している部分もあったりして、その状況 が進行中だ。今あるかたち、あるいは復刻できるのであれば、ちょっと手 を入れたりして、保全をできないものか。
社会教育課長	今のところ、正式な拓本を取っている。昨年はおもてなし少女少年隊に も拓本を取らせた。御存知の通り、今あるものを樹脂で囲むとなると、な かなか難しい。今後も気をつけていきたい。
野村委員	是非今の状態を保ってほしい。今の技術をもってすれば大丈夫である。 大事な文化財であるので、予算等をつけて早めにやってほしい。

葛迫委員	彫られた時期というのは、文字でわかるのか。
社会教育課長	1781年の作である。
葛迫委員	これをここに設置した年はわかるか。
野村委員	もともとはあの小高い丘の裏側にあった。公民館があって、そこに協和中の体育館を設置するときに現在のところに綺麗にして移した。
葛迫委員	菅原神社で守ってもらっているのか。
社会教育課長	桜島焼亡等は、菅原神社の総代さんに保持してもらっている。
教育長	異議がないので、議案第 6 号は承認する。
	議案第 7 号 垂水市立学校通学費補助に関する規則の一部改正について (非公開)
	議案第 8 号 垂水市教育委員会学校教育課の所管に係る補助金交付規則の一部改正について (非公開)
	議案第 9 号 平成 29 年度垂水市学校薬剤師の委嘱について (非公開)
	議案第 10 号 垂水市社会教育指導員の任命について (非公開)
	議案第 11 号 垂水市青少年育成センター相談員の委嘱について (非公開)
4 その他	給食センターについて (非公開)

5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長の報告に入る。
野村委員	<p>1. 「協和小学校学習発表会について」 2月12日（日）に協和小学校の学習発表会に出席した。発表スローガン「夢、希望！！協力和合で堂々と発表。」のもとに、9時40分にスタートした。まさに、スローガン通り、子供達は元気いっぱい、台本にあるのかアドリブなのか、いくつかの爆笑を誘ったりしながら、大変な張り切りようであった。もちろん全員参加であり、一人一人が自分の役割を懸命に果たしていた。なかでも6年生の「英語&鹿児島弁劇 ” THE PEACH BOY “」は、桃太郎の鬼退治の昔話を大変おもしろおかしく演じて、大盛況であった。小学校での英語学習ももうここまでできているのかという思いを強くした。</p> <p>2. 「垂水中央中学校卒業式について」 今日の垂水中央中学校の卒業式は、大変素晴らしい感動の卒業式だった。卒業生の態度については勿論だが、長時間にもかかわらず在校生も整然と立派な態度であった。先生方の日頃の御指導がいいかたちで出来上がっているものと思われた。特に、全校生徒による合唱は、毎年のことだが卒業式全体の中で最高の感動の高まりを作ってくれた。 すべての学校行事について、ぶれることがない在り方というのは、中央中がいい意味で組織の統制がしっかりとされているという証であると思われる。</p>
田原委員	<p>1. 「垂水高等学校卒業式について」 3月1日は、小雨の降る寒い天候の中での卒業式であったが、厳かな中に先生方の思いのこもった式であった。特に、校長先生の力強い励ましの言葉が、会場に響き渡っていた。 鹿児島市や桜島、鹿屋市からの生徒もいるが、どのような進路を目指しているのか知りたい気がした。</p> <p>2. 「垂水中央中学校卒業式について」 今日の垂水中央中学校の卒業式は、卒業生、在校生の態度、話を聞く姿勢、あいさつの仕方、全校で歌がしっかり歌えるところが大変よかった。卒業式は、中学校の最後の授業であるが、その式をみんなで作り上げたいといった気持ちのこもった式であった。 校長先生の愛情いっぱいの式辞や生徒代表の答辞や送辞の中に充実した学校生活を送った満足感のようなものを感じた。必ずやよき伝統が、次の学年に引き継がれるだろうと思った。</p>

<p>中谷委員</p>	<p>1. 「心の教育推進委員会について」</p> <p>3月9日夜の7時から柗原小で、校区「心の教育推進委員会」が開催された。出席者は、学校職員、保護者、地域の皆さん、南駐在所、中央中学校の先生。子供達の様子をプリントで報告があり、中学校の生徒の様子も報告があった。</p> <p>ちょうどこの日、地域にいらっしゃった女流画家の亡井ロスズ子さんから寄贈の絵の贈呈式の時のテレビ放映もあり、その時の話も語られた。</p> <p>教頭先生の話によると、その絵を学校玄関に飾るために校長先生が子供達の前に出された時、子供達は、「ホー。」「すごい。」と目をきらきらさせて大きな歓声をあげたそうだ。それをテレビ局の方々が見て、びっくりされたそうだ。「なんと、素直な子供達だろう。」と。美しいものに、偉大な絵に心から感動したのだろう。子供達は、こんな心のある子供に育てられている。育ててくださった学校、地域、たくさんの方々に改めて感謝することだった。</p> <p>また、柗原小は、新聞のひろば欄や俳句に投稿し、賑わしている。新聞を読むのがとても楽しみだ。是非とも、この心の教育の推進を頑張っていたきたいものだ。</p>
<p>葛迫委員</p>	<p>1. 「垂水中央中学校卒業式について」</p> <p>今日の垂水中央中学校の卒業式は、何事もなく厳かで、そして素晴らしい卒業式になって終了することが出来た。本当によかったと思う。</p> <p>明石校長先生の言葉の中で、「失敗を恐れなくて、恥をかいてもいいじゃないか。」。私もそうだった。「失敗」が次のステップに繋がっていくことを話された。</p> <p>私も絵を描くこと、そしてその作品を発表すること、それは、「自分の恥ずかしい部分をみんなに見せている。」。しかし、それは、自分にとっては、「恥ずかしいことだけど」、絵を観る人には「希望、夢、勇気」を与えていることになっている。そう自分で信じて絵を描いている。</p> <p>2. 「井ロスズ子氏絵画作品を出身校へ寄贈について」</p> <p>3月9日、井ロスズ子氏絵画作品を、小学校は柗原小学校、中学校はすべての学校が統合されたので垂水中央中学校へ寄贈された。</p> <p>昨年の12月に井ロスズ子さんの米寿を記念した絵画展が開催された。多くの市民の皆様や垂水市以外の皆様にも観覧いただいたことは、本人も一番嬉しかったと思う。本人の希望で作品の一部をお世話になった出身校に寄贈したいと思っていたのですが、今年の1月17日突然の病気によって亡くなられた。教育長をはじめとした教育委員会の皆様や教育委員の先生方には、お通夜から葬儀に至るまで誠にありがたくお礼を申し上げたいと思う。そこで、1月23日に予定していた学校寄贈の件は、3月9日に延期ということになった。</p> <p>柗原小学校には「青首大根」、垂水中央中学校には「葱」、垂水高校には「カボチャ」を寄贈してきた。特に、柗原小学校では全校児童14名が「青首大根」の壁掛けに参加し、感激した様子だった。</p> <p>また、鹿児島テレビが特集を組みたいとして最後の取材に来ていたが、作品を見た瞬間の感嘆に記者がすごく喜んでいて。児童数14名の小さな学</p>

	<p>校の出来事に記者やカメラマンの方々には、家族的な学校と思えたらしく微笑ましく映ったようだ。川村教頭先生は、「生前井口さんは、「この石段が懐かしく覚えている。」と話されていた。井口さんが通われていた頃の話が聞けて、思い出になった。」と話されていた。</p> <p>3月11日に放送された番組には、多くの方々から「御主人の内助がよかった。」「寄り添う二人の人生が見えてよかった。」「きれいに作品が撮れていた。」「涙が止まらなかった。」などとした声があった。また、取材した記者からも「人生の半ばから、自分の夢に向かって走っていったスズ子さんの人生に感動した。」とした感想があった。</p> <p>1. 「若草文学賞について」</p> <p>2月18日（土）、第17回若草文学賞表彰式があった。これは、市の文化協会が市内の小・中学校にテーマを与えて、応募をされる取組だ。今年は、テーマは、「友達」だった。89点の中から、グランプリや最優秀賞や表彰があったが、この取組は子供達がテーマに向き合う中で、自分を振り返ったり、見つめ直したり、そしてまた、これからの生き方を自分自身で考えたり、そういう意味で、価値ある取組だと講評の中で挨拶をさせていただいた。最優秀賞の協和小学校の瀬戸山さんの作文も非常に素晴らしいもので、感激するものであった。</p> <p>なお、井口スズ子さんのお話があったが、垂水市にとって貢献度は大なるものがあると感じるし、また、文化協会主催の若草文学賞であるとか、さらには、いろんな音楽関係であるとか、本当に文化のまち、芸術のまちと言われるにふさわしい取組が少しずつ確立されつつあるのかなと感じているところだ。なお、多くの方々のお力添えに感謝申し上げたい。</p> <p>2. 「垂水中央中学校卒業式について」</p> <p>今日の中央中学校の卒業式については、今までにないいろいろな思いが錯綜する卒業式であった。3年生が大人の対応をしてくれたと、感謝の気持ちで、本当に卒業おめでとうという思いだった。これからも在校生が伝統をしっかり受けついでいこうと思ひ、素晴らしい卒業式だった。</p>
<p>教育長</p>	
<p>教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長</p>	<p>2月11日から3月14日までの主な行事等について報告。 併せて、4月7日までの行事予定についてお知らせした。</p>
<p>6 閉 会</p>	